

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年 6月 4日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：9件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	活性炭ホールドアップ設備建屋内補機冷却装置のA/B系冷却塔（4基）のドレン配管（4箇所中、3箇所）に詰まりが認められたため、当該配管（全4箇所）を点検・清掃	D	
2	1号機	活性炭ホールドアップ設備建屋内補機冷却装置のB系冷却塔（2基）用のレベル検出器（1台）に動作不良が認められたため、当該検出器を点検・校正	D	
3	2号機	残留熱除去海水系ポンプ（A・C）出口圧力計の点検において、当該計器検出元弁（2台）にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	D	
4	2号機	原子炉の運転モードスイッチ切替を伴う検査を行う際に原子炉施設保安規定に定める運転上の制限を満足していることを確認するための「管理基準適合状況チェックシート」に記載不備が認められたため、対応検討	C	
5	3号機	計装用圧縮空気系原子炉格納容器入口隔離弁の制御用空気供給配管接続部よりエアリーク（かに泡程度）が認められたため、当該部を点検・修理	D	
6	5号機	廃棄物処理系床ドレン濃縮器用給液ポンプ出口圧力調整弁本体付属の小型圧力計に指針の変形が認められたため、当該圧力計を交換	D	
7	6号機	主発電機固定子巻線冷却系の励磁機用整流器冷却水の「流量低」警報用圧力スイッチの点検において、低圧側検出元弁の開度によっては、グランド部にリーク（微量）が発生することが認められたため、当該弁を交換	D	
8	6号機	構内連絡用ページング装置（中央操作室のオペレータ席に設置）の送受話器の拡声用押しボタンに戻り動作及び接点動作不良が認められたため、当該送受話器を点検・修理	D	
9	集中環境施設	補助ボイラ（A）用重油バーナー噴霧用空気供給弁（2台）にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

＜原子力発電所における不適合事象の是正管理＞

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

＜注 意＞

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで